

第二回郵便局たんけん&手紙の書き方教室 in 松山中央郵便局

平成26年6月28日

T OSS愛媛

平成二十六年六月二十八日、松山市「松山中央郵便局」にて、「第一回郵便局たんけん&手紙の書き方教室」が開催されました。主催は「松山中央郵便局」、共催は「T OSS愛媛」です。

小学生二十名、保護者九名を迎え、盛大に開催されました。

西村副局長の御挨拶



開会にあたり、松山中央郵便局の西村副局長から御挨拶をいただきました。

「メールやSNSで事足りる世の中になってきたが、こういう時代だからこそ、手紙やはがきのよさを知ってほしい。」と、参加した子どもたちや保護者の方々に語りかけられました。

宛名、はがきの書き方

「はがきの書き方テキスト」を使って、宛名の書き方やはがきの本文の書き方を学習しました。

まずは、宛名の書き方です。相手の名前や住所をどこに書けばよいかを確認したあと、子どもたち



ちは、実際に宛名を書きました。このとき、テキストについている型紙を利用すると、低学年の子どもでも、迷わず宛名を書くことができます。この型紙は、保護者の方にも「これがある」と便利」と大変好評でした。

はがきの裏面に移ります。書き出しは「暑くなってきましたね。」とか「おばあちゃん、元気ですか。」などで始まります。

次に本文です。学校で楽しかったことや、自分が今がんばっていることなどを書きました。「学校でプールをがんばっているよ」、「ピアノでワルツが弾けるようになったよ」などの子ども自分の伝えたいことを精一杯表現していました。

結びは、「元気でね。」や「おじいちゃん、長生き



してね。」など、子どもたちの気持ちのこもった言葉で、はがきを締めくくりました。

最後に、似顔絵や夏らしいイラストを描いたり色を付けたりと、素敵なはがきの完成です。

郵便局たんけん

子どもたちは、完成したはがきを手にも、外に出てはがきをポストに投函しました。その後、ポストからはがきを回収します。そのとき、ポストの中も見せてもらいました。「こんなふうになってるんだ」と、みんな興味深々でした。



回収されたはがきは、まず消印を押す機械に通し、区分機に通しました。区分機は県内六カ所の郵便局に設置されており、松山ではこの松山中央郵便局と西区分機は、一時間で五万通もの郵便物を流すという事です。



瞬く間に目の前を通過していく郵便物を見た子どもたちからは、「わー」という感嘆の声があがりました。子どもたちだけでなく、いっしょに来られた保護者

の方もびつくりされていました。

■はがきの書き方が勉強になりました。

(一年生) ■

わたしは、郵便局の見学で、消印の機械がすごく速くておもしろかったです。はがきを書くのも、いろいろなコツを覚えてもらって、より上手にはがきを書くことができました。区分機が速く住所を読むと思っていたので、機械はすごいなと思いました。中央郵便局のしくみがわかって楽しかったです。(三年生)



■はがきが、きれいでできてうれしかったです。(二年生)

保護者の感想

■はがきの書き方は、宛名、住所を書くテンプレートが役に立つなと思いました。また、先生の説明がすごくていねいで分かりやすかったです。郵便局の見学は、普段は見られない機械を見ることでできておもしろかったです。(三年生保護者) ■書き方教室からチャレランにいたるまで、多くのスタッフの方に優しく教えていねいにかかわっていただいて、とてもよい体験になりました。(二年生保護者)